

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																			
国際ビジネス公務員 大学校		昭和59年3月1日		双石 茂		〒963-8002 福島県郡山市駅前一丁目12番2号 (電話) 024-923-4665																			
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																			
学校法人 新潟総合学院		平成7年3月24日		池田 祥護		〒951-8065 新潟県新潟市中央区東堀通一番町494番地3 (電話) 025-210-8565																			
分野	認定課程名	認定学科名				専門士	高度専門士																		
商業実務	商業実務専門課程	スポーツビジネス科				平成28年文部科学省告示 第19号	-																		
学科の目的	本校は、商業実務関係の専門課程を設置し、社会に貢献しうる人材を育成することを目的とし、推薦学科であるスポーツビジネス科においては、日々変化するスポーツ業界に柔軟に対応し、最新の業界動向を教育課程に取り入れるとともに、企業等との連携により、より実践的な人材の育成を目的とする。																								
認定年月日	平成26年3月31日																								
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																		
2	昼間	1936時間	356時間	188時間	1396時間	0時間	0時間																		
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																			
40人		17	0人	3人	4人	7人																			
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 期末試験, 授業態度, 実習成果等により評価																				
長期休み	■学年始:4月1日～4月6日 ■夏季:7月20日～8月31日 ■冬季:12月21日～1月7日 ■学年末:2月11日～3月31日			卒業・進級 条件	出席率90%以上の出席と科目履修終了により進級・卒業とする。																				
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 個別面談, 保護者面談, 欠席者に対する補習等を適宜実施			課外活動	■課外活動の種類 球技大会実行委員 学園祭実行委員 ■サークル活動: 有																				
就職等の 状況※2	■主な就職先・業界等(平成28年度卒業生) スポーツ業界(福島県郡山市・二本松市・東京都・仙台市) ■就職指導内容 スポーツ業界の研究を重ね、一般的な就職活動(履歴書作成・面接指導)と希望職種条件とのマッチング ■卒業生数 9 人 ■就職希望者数 9 人 ■就職者数 9 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 % ■その他 (平成 28 年度卒業生に関する 平成29年5月1日 時点の情報)			主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成28年度卒業生に関する平成29年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AFAA PC</td> <td>③</td> <td>9人</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>スポーツシューフィッター</td> <td>③</td> <td>8人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>アスリートフードマイスター</td> <td>③</td> <td>9人</td> <td>7人</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄					資格・検定名	種	受験者数	合格者数	AFAA PC	③	9人	7人	スポーツシューフィッター	③	8人	8人	アスリートフードマイスター	③	9人	7人
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																						
AFAA PC	③	9人	7人																						
スポーツシューフィッター	③	8人	8人																						
アスリートフードマイスター	③	9人	7人																						
中途退学 の現状	■中途退学者 0 名 ■中退率 0 % 平成28年4月1日時点において、在学者10名(平成28年4月1日入学者を含む) 平成29年3月31日時点において、在学者10名(平成29年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の原因 ■中退防止・中退者支援のための取組 担任による欠席確認の徹底, 定期的な個別面談, モチベーション教育, 教職員の情報共有, カウンセリングの実施																								
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 特待生制度: 入学対象者および進級生を対象とし、成績・実績・面接試験をもとに選考。入学金や授業料を免除する。 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象																								
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																								
当該学科の ホームページ URL	URL: http://www.jo-bi.jp																								

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係																			
(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針 スポーツ・ビジネスの分野で活躍できる、より実践的な人材を輩出することが専門課程の責務であることから、当該学科においては、現在実務に従事する非常勤講師の講義(座学・実習)のほか、すべての在學生は企業連携のもとで2年次にプロスポーツ(サッカー、バスケット等)のイベント運営に携わるとともに、実際に企画立案等のノウハウ等も座学で学び、イベント運営も手がけられる人材の育成を目指す。																			
(2)教育課程編成委員会等の位置付け 委員会の目的として「教育課程編成の改善」を主とするため、教務部の指導・助言機関として位置づけ、委員会での協議事項を学校管理者で検討し、さらに本校及びグループ校の意見等を取り入れながら教育課程へ反映する。																			
(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿 平成29年11月10日現在																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>名前</th> <th>所属</th> <th>任期</th> <th>種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高橋 智幸</td> <td>株式会社高善 取締役、福島県ミニバスケットボール連盟 副理事長</td> <td>平成29年4月1日 ～平成30年3月31日(1年)</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>大内 郁弥</td> <td>特定非営利活動法人ESTRELLAS 理事 クラブマネージャー</td> <td>平成29年4月1日 ～平成30年3月31日(1年)</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>新井 大輔</td> <td>セントラルフィットネスクラブ郡山 店長</td> <td>平成29年4月1日 ～平成30年3月31日(1年)</td> <td>③</td> </tr> </tbody> </table>				名前	所属	任期	種別	高橋 智幸	株式会社高善 取締役、福島県ミニバスケットボール連盟 副理事長	平成29年4月1日 ～平成30年3月31日(1年)	①	大内 郁弥	特定非営利活動法人ESTRELLAS 理事 クラブマネージャー	平成29年4月1日 ～平成30年3月31日(1年)	③	新井 大輔	セントラルフィットネスクラブ郡山 店長	平成29年4月1日 ～平成30年3月31日(1年)	③
名前	所属	任期	種別																
高橋 智幸	株式会社高善 取締役、福島県ミニバスケットボール連盟 副理事長	平成29年4月1日 ～平成30年3月31日(1年)	①																
大内 郁弥	特定非営利活動法人ESTRELLAS 理事 クラブマネージャー	平成29年4月1日 ～平成30年3月31日(1年)	③																
新井 大輔	セントラルフィットネスクラブ郡山 店長	平成29年4月1日 ～平成30年3月31日(1年)	③																
(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期 年2回 (開催日時) 第1回 平成29年7月20日 14:00～15:00 平成28年7月28日 14:00～15:00 実施済み 第2回 平成29年11月16日 14:00～15:00(予定) 平成28年1月13日 14:00～15:00 実施済み																			
(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況 平成28年度の委員会意見よりイベント動員戦略の考案について学生に考えさせる機会を増やしてはどうかの提案。 平成29年カリキュラムに経営戦略についての講義を導入。来場者からアンケート調査を実施。学生はアンケートの結果より学生自身(運営側の意図)と顧客側の受け取り方に差があることを認識。今回委員会の意見を導入することにより学生は一方向からの視点だけでは成功につながらないことを実践で学ぶことができ、意識改革につながった。																			
2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係																			
(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針 業界において即戦力となる、イベント企画力と運営に長けた人材育成を目指す。よって、座学中心のイベント企画の学習と、企業連携によるイベント運営における実習を並行して進める。外部講師より指導を受けながら、学生の企画による校内スポーツイベントも運営し、そのスキルを磨く。																			
(2)実習・演習等における企業等との連携内容 プロの野球・バスケットボールのイベント運営での実習を通して、企業側担当者より到達度・評価をいただきながら、実習で得た経験を自らの企画やイベント運営の機会に活かしていく。																			
(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>科目名</th> <th>科目概要</th> <th>連携企業等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実務実習</td> <td>より実践的な人材輩出をすべく、実際のスポーツ現場にて実習を行い、指導力や販売力を高める。</td> <td>セントラルフィットネスクラブ郡山・スポーツメイト・ウィン郡山・ゴールドジム・ゼビオ株式会社・他3件</td> </tr> <tr> <td>地域スポーツ運営実習</td> <td>産学官連携で地域のスポーツイベントの運営に参加をし、自らが企画運営を行い実践力を高める。</td> <td>郡山市中央商店街・かがみいしスポーツクラブ・福島県野球連盟県中支部・他1社</td> </tr> <tr> <td>プロチーム運営実習</td> <td>県内のプロスポーツチームでの実習で、運営方法のノウハウを学び職業観を高める。</td> <td>福島ファイヤーボンズ・福島ホープス・福島ユナイテッドFC</td> </tr> </tbody> </table>				科目名	科目概要	連携企業等	実務実習	より実践的な人材輩出をすべく、実際のスポーツ現場にて実習を行い、指導力や販売力を高める。	セントラルフィットネスクラブ郡山・スポーツメイト・ウィン郡山・ゴールドジム・ゼビオ株式会社・他3件	地域スポーツ運営実習	産学官連携で地域のスポーツイベントの運営に参加をし、自らが企画運営を行い実践力を高める。	郡山市中央商店街・かがみいしスポーツクラブ・福島県野球連盟県中支部・他1社	プロチーム運営実習	県内のプロスポーツチームでの実習で、運営方法のノウハウを学び職業観を高める。	福島ファイヤーボンズ・福島ホープス・福島ユナイテッドFC				
科目名	科目概要	連携企業等																	
実務実習	より実践的な人材輩出をすべく、実際のスポーツ現場にて実習を行い、指導力や販売力を高める。	セントラルフィットネスクラブ郡山・スポーツメイト・ウィン郡山・ゴールドジム・ゼビオ株式会社・他3件																	
地域スポーツ運営実習	産学官連携で地域のスポーツイベントの運営に参加をし、自らが企画運営を行い実践力を高める。	郡山市中央商店街・かがみいしスポーツクラブ・福島県野球連盟県中支部・他1社																	
プロチーム運営実習	県内のプロスポーツチームでの実習で、運営方法のノウハウを学び職業観を高める。	福島ファイヤーボンズ・福島ホープス・福島ユナイテッドFC																	
3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係																			
(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 基本は企業現場からの教員採用を前提としているが、学校内部で教員年数を重ねていくにつれ、ややもすれば過去の知識・経験のまま陳腐化した教育を施す危険性もある。このため、就業規則第57条等による教育・研修体制、特に外部研修を充実させ、日々の研鑽とスキルアップを図る方針とする。																			
(2)研修等の実績 ①専攻分野における実務に関する研修等 1. 郡山市スポーツ評議員会参加(9月25日) 2. MBA21参加(10月24日) ②指導力の修得・向上のための研修等 1. 公益社団法人日本青年会議所 効果的なプレゼンテーションセミナー参加(5月14日,15日) 2. 全専研退学抑止者研修参加(8月22日) 3. 特定非営利活動法人JATI日本トレーニング指導者協会 養成講習会参加(10月24日)																			
(3)研修等の計画 ①専攻分野における実務に関する研修等 1. 郡山市スポーツ評議員会(2月予定) 2. 郡山まちづくり協議会まちづくりミーティング(12月予定) ②指導力の修得・向上のための研修等																			

1. 退学抑止者研修(3月16日予定) 2. 教員研修(2月19日予定) 3. 実践行動学指導者研修(3月22日予定)

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針
 学校関係者評価については、文部科学省策定の「専修学校における学校評価ガイドライン」をベースに、任意団体である全国専門学校経営研究会(加盟校:26法人113校)により協議検討を重ねた「自己点検・評価基準」を主に、点検基準表を策定し、学校が委員会等の点検・評価を基に作成し、学校長が再点検の上、学校運営に反映させる方針とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	教育理念、教育目的、教育目標
(2)学校運営	教育の内容・管理運営・改革改善
(3)教育活動	教育の内容
(4)学修成果	教育目標の達成度と教育効果
(5)学生支援	学生支援
(6)教育環境	教育の実施体制
(7)学生の受入れ募集	学生支援
(8)財務	管理運営(法人)
(9)法令等の遵守	管理運営
(10)社会貢献・地域貢献	社会的活動
(11)国際交流	留学生状況・国際提携校・国際交流活動

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況
 学校・評価委員会・本部による点検後の自己点検評価に基づき、不備な点の改善、方向性の決定、優良な点の継続、及び次年度以降の解決・取組課題を具体化し、学校の質保証・向上に努めていく。平成28年度評価内容において地域に貢献できる人材の育成においては卒業後の離職状況についても公表していくべきとの結論となり、平成28年度卒業生について1年後の調査後に状況を把握し平成30年度に情報を共有することとしている。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成29年11月10日現在

名前	所属	任期	種別
影山 幸一	福島交通観光株式会社 課長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日(1年)	卒業生
桑原 一徳	郡山情報ビジネス公務員専門学校 同窓会会長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日(1年)	卒業生
三浦 吉久	税理士法人三浦会計事務所 代表社員	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日(1年)	企業等委員
上田 哲	郡山商工会議所 開発事業部 部長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日(1年)	企業等委員
永山 三郎	郡山情報ビジネス専門学校 元校長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日(1年)	元校長
双石 茂	国際ビジネス公務員大学校 学校長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日(1年)	学校長
増子 卓矢	国際ビジネス公務員大学校 副校長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日(1年)	副校長
井口 義基	国際ビジネス公務員大学校 教務部長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日(1年)	教務部長
首野 浩二	国際ビジネス公務員大学校 地域連携課課長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日(1年)	課長

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期
 (ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他() ()
 URL:<http://www.jo-bi.jp>

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況」

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針
 当校の教育内容、内部活動、外部活動、資格・コンペ・表彰、また学校経営に係る事項等の実績については、公益法人として、関連団体・関連業界・学生就職先のほか、広く万人に発信する。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標
(2)各学科等の教育	学科別カリキュラム・特色・資格・就職実績
(3)教職員	専任教員
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育・就職指導
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事・対外活動・イベント・施設・設備
(6)学生の生活支援	各種奨学金制度・学生寮・住居紹介
(7)学生納付金・修学支援	各種奨学金制度・学費サポート・特待生制度
(8)学校の財務	収支決算書
(9)学校評価	自己点検評価結果
(10)国際連携の状況	留学生状況・国際提携校・国際交流活動
(11)その他	生涯学習・編入学等

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法
 Webページ URL:<http://www.jo-bi.jp>

授業科目等の概要

(商業実務専門課程スポーツビジネス学科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			Word実習	Wordの操作方法と文書作成方法の習得を目指す	1前	42	2			○	○			○	
○			コミュニケーション論Ⅰ	正しい言葉遣いや伝える力、理解する力を身に付ける	1後	30	1	○			○		○		
○			キャリアプランⅠ	ビジネスマナーを身に付け、履歴書作成や面接試験の対策を行う	1後	30	1	○			○		○		
○			一般教養演習Ⅰ	社会人に必要な教養と常識を身に付け、筆記試験の対策を行う	1前	28	1		○		○		○		
○			一般教養演習Ⅱ	社会人に必要な教養と常識を身に付け、筆記試験の対策を行う	1後	32	1		○		○		○		
○			PowerPoint実習	PowerPointの操作方法とプレゼンテーション力を養う	1後	48	2			○	○			○	
○			レクリエーション実習	バスハイクと球技大会を通して集団内での協調性を身に付ける	1後	20	1			○		○	○		
○			就職研修	就職に対する心構えと挨拶や電話対応の具体的な技術を培う	1後	20	1			○		○		○	
○			フィットネス実習Ⅰ-A	AFAA PC検定の合格に向けての基礎知識を習得する	1前	42	1			○	○			○	
○			フィットネス実習Ⅰ-B	AFAA PC検定の合格に向けての実技指導能力を習得する	1後	48	1			○	○			○	
○			トレーニング実習Ⅰ-A	インストラクターに必要な基礎的知識とマシントレーニングの技術を習得する	1後	48	2			○		○		○	

○		小売業の種類	流通と小売業の役割や店舗形態とその運営特性を学ぶ	1前	30	1	○			○									
○		マーチャンダイジング	仕入計画や商品知識の活用方法から販売計画までを学ぶ	1前	30	1	○			○									
○		ストアオペレーション	戦略的購買促進のあり方や戦略的ディスプレイの実施方法等を学ぶ	1前	30	1	○			○									
○		マーケティング	マーケティング戦略の方法やマーケットリサーチの方法などを学ぶ	1前	30	1	○			○									
○		販売・経営管理	販売管理者の基本業務や法令知識、経営分析の方法などを学ぶ	1前	16	1	○			○									
○		VMD I	ストアオペレーションで学んだディスプレイの知識を作品の製作を通して技術の習得に繋げる	1前	28	1				○	○								○
○		VMD II	観る側の視点からディスプレイをレイアウトし高度な技術を習得する	1後	32	1				○	○								○
○		スポーツ総合	あらゆるスポーツの知識と理解度を高めスポーツ業界に必要な情報を得る	1後	60	2				○	○								○
○		スポーツ栄養学	アスリートフードマイスター検定合格に向けて栄養学の基礎知識と土台を習得する	1後	32	2	○			○									○
○		スポーツ用品研究	スポーツショップ店員によるショップ定員に必要な用品の加工実習や用品の知識の技能と習得をはかる	1前	28	1				○		○							○
○		地域スポーツ運営実習Ⅰ	産学官連携実習として、授業で学んだノウハウを活かして地域のスポーツボランティアに積極的に参加する	1前	40	2				○		○	○						○
○		地域スポーツ運営実習Ⅱ	産学官連携実習として、授業で学んだノウハウを活かして地域のスポーツ団体に実践授業を提供する	1後	20	2				○		○	○						○
	○	実務実習Ⅰ	将来の職業選択として職場体験を行い進路選択の一助とする	1後	42	1				○		○	○						○
	○	実務実習Ⅱ	将来の職業選択として職場体験を行い進路選択の一助とし、取得した資格や検定が実社会でどのように活かせるか経験をする	1後	42	1				○		○	○						○

○		プロチーム運営実習Ⅰ	福島ホープス、福島ユナイテッドFCの実習を通してプロチームの運営方法を習得する	1前	40	2			○	○	○	○	
○		プロチーム運営実習Ⅱ	福島ファイヤーボンズの実習を通してプロチームの運営方法を習得し、接客スキルやコミュニケーション能力、実践力を高める	1後	40	2			○	○	○	○	
○		ミズノ(株)特別授業	ミズノ(株)のスタッフによる最新のスポーツ業界の知識やランニングシューズの販売方法の技術を習得する	1後	14	1			○	○		○	○
○		ウェブマーケティング	ウェブマーケティングによる外部発信のツールを学び、実際にスポーツ活動を発信する	1後	60	2			○	○		○	
○		スポーツ実習	五輪種目をはじめ、あらゆるスポーツを実習を通して経験をし、スポーツの楽しさを体験する	1後	48	1			○		○	○	
○		スポーツ指導	スポーツ現場でのコーチングスキル、ティーチングスキルを習得する	1後	17	1			○		○	○	○
○		キャリアプランⅡ	社会人と学生の違いを理解し、社会人に必要な心構えとビジネスマナーの習得を目指す	2後	32	1	○			○		○	
○		卒業研究	学科の特性に合わせたテーマを設定し、研究、プレゼンを行う	2後	32	1	○			○		○	
○		レクリエーション実習	バスハイクと球技大会を通して集団内での協調性を身に付ける	2後	20	1			○		○	○	
○		国際文化研修	異文化体験を通して、グローバル社会に対応できる国際感覚を養う	2後	40	1			○		○	○	
○		プレゼンテーション研修	プレゼンテーションに必要な技術と発信の仕方を学ぶ	2後	10	1			○		○	○	
○		スポーツ総合	あらゆるスポーツの知識と理解度を高めスポーツ業界に必要な情報を得る	2後	64	2			○	○		○	
○		スポーツ栄養演習	アスリートフードマイスターの資格を活かしてのスポーツ選手のメニュー作成やプロテインやサプリメントの活用方法を取得する	2前	32	1			○		○	○	
○		英会話Ⅰ	グローバル社会に向けて語学力の基礎知識を高める	2前	32	1			○		○		○

○		英会話Ⅱ	英会話の基本的な技術を習得する	2後	32	1		○	○			○	
○		スポーツイベント運営企画	スポーツイベントの内容を理解し、一つの大会の企画立案を目指す	2後	60	2			○		○	○	○
○		サークル企画運営	サークルの立ち上げから年間運営までの計画を行い、実運営を行う	2後	60	2			○		○	○	
○		地域スポーツ運営実習Ⅰ	産学官連携実習として、授業で学んだノウハウを活かして地域のスポーツボランティアに積極的に参加する	2前	40	2			○		○	○	
○		地域スポーツ運営実習Ⅱ	産学官連携実習として、授業で学んだノウハウを活かして地域のスポーツ団体に実践授業を提供する	2後	20	2			○		○	○	
○		プロチーム運営実習Ⅰ	福島ホープス、福島ユナイテッドFCの実習を通してプロチームの運営方法を習得する	2前	40	2			○		○	○	
○		プロチーム運営実習Ⅱ	福島ファイヤーボンズの実習を通してプロチームの運営方法を習得し、接客スキルやコミュニケーション能力、実践力を高める	2後	40	2			○		○	○	
○		ミズノ(株)特別授業	ミズノ(株)のスタッフによる最新のスポーツ業界の知識やランニングシューズの販売方法の技術を習得する	2後	14	1			○	○			○
○		ウェブマーケティング	ウェブマーケティングによる外部発信のツールを学び、実際にスポーツ活動を発信し正しい発信力を学ぶ	2後	64	2			○	○			○
○		Excel実習	Excelの操作方法と表計算処理の方法を学ぶ	2前	48	2			○	○			○
○		スポーツ指導	スポーツ現場でのコーチングスキル、ティーチングスキルを習得する	2後	17	1			○		○	○	○
○		スポーツ用品研究	スポーツショップ店員によるショップ定員に必要な用品の加工実習や用品の知識の技能と習得をはかる	2前	32	2			○		○		○
○		サービス接遇Ⅰ	接客販売に関する知識と技術を身に付ける	2前	32	1	○			○			○
○		サービス接遇Ⅱ	接客販売に関する知識と技術を身に付け、接客に対する対応力を磨く	2後	32	1	○			○			○

○		ビジネス電話 演習	ビジネスに必要な電話対応の基礎的スキルを習得する	2 後	32	1		○	○			○
○		VMD I	ストアオペレーションで学んだディスプレイの知識を作品の製作を通して技術の習得に繋げる	2 前	32	1		○	○			○
○		VMD II	観る側の視点からディスプレイをレイアウトし高度な技術を習得する	2 後	32	1		○	○			○
○		スポーツ実習	五輪種目をはじめ、あらゆるスポーツを実習を通して経験をし、スポーツの楽しさを体験する	2 後	64	1		○		○	○	
合計					57科目		1936単位時間(77単位)		

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
90%の出席と科目履修終了により卒業。履修方法は科目の特性に合わせ講義・演習・実習の形式をとる。	1学年の学期区分	2期	
	1学期の授業期間	16週	

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。